

平成28年度「東京アートポイント計画」 新規共催団体決定のお知らせ

アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)では、世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。その中核事業の一つとして東京都との共催により実施している「東京アートポイント計画」は、地域社会を担うNPOとともにアートプロジェクトを展開することで、多数の「アートポイント(文化創造発信拠点)」を生み出す取り組みです。

平成28年度より、新規共催団体の選定にあたって公募を開始し、審査の結果、以下の2団体に決定しました。エリア型事業(※1)5団体、テーマ型事業(※2)8団体の合計13団体より申請がありました。

※1:地域に根ざしたアートプロジェクトの実施を通じて、小規模の文化創造拠点を形成する事業

※2:特定のテーマに根ざしたアートプロジェクトの実施を通じて、社会の潜在的な課題に取り組む事業

■ 平成28年度「東京アートポイント計画」新規共催団体選定 一覧(申請13件、選定2件)

対象部門	申請団体名	一般社団法人新宿アートプロジェクト(法人申請予定)
エリア型	申請事業名	多文化アートプロジェクト(仮)
	申請活動の概要	『移民』の若者たちを異なる文化をつなぐ社会的資源と捉え、アートプロジェクトを通じた若者たちのエンパワメントを目的とする事業。新宿区内を主な活動エリアとする。今年度は『移民』の生活のフィールドワークとその結果を踏まえたワークショップ形式のアウトリーチ活動等を行い、人材育成事業として、『移民』の若者たちがプロジェクトの運営補佐を行う。※本事業では、多様な国籍・文化を内包し生活する外国人を『移民』と呼んでいる。

対象部門	申請団体名	特定非営利活動法人場所と物語(法人申請中)
テーマ型	申請事業名	東京ステイ
	申請活動の概要	「東京らしさ」を持つ場の多様性と個性を見出し発信することで、東京の文化的価値を見つめ直すことに取り組む事業。価値発掘の手法として「ステイ」(旅人と住人の中間の視点を持つ滞在体験)を用い、そのアプローチの有効性を探っていく。今年度は、フィールドワーク等により東京に残したい場所を発掘し、その価値の言語化・発信を試みる。

■ 選定結果の概況

今回の選定は、募集要項に明記した審査基準に照らし合わせ、特に事業の独創性・先進性を重視するとともに、中長期展開の潜在的可能性を視野に入れて行いました。13件の申請のうち、法人設立済みの団体は3団体、法人設立を予定している団体は10団体でした。すでに複数年の活動実績を有する団体が多くありましたが、今回の申請において新しい事業フレームの提示があるか否かを判断材料としました。

■ 選定方法

提出された申請書及び添付資料に基づき、アーツカウンシル東京事業推進室及び外部有識者で構成される事業・共催団体選定会議において選定しました。

【東京アートポイント計画に関するお問い合わせ】

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 事業推進室 事業調整課 大内、芦部
 TEL : 03-6256-8435 FAX : 03-6256-8829 E-mail : info-ap@artscouncil-tokyo.jp

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 広報担当：森(隆)、圓城寺
 TEL : 03-6256-8432 E-mail : press@artscouncil-tokyo.jp

<http://www.artscouncil-tokyo.jp/>